

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 28 年 4月11 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ コオナンダイチクチョウジュウヒ
 ガイタイサクキョウギカイ
団体名 光南台地区鳥獣被害対策協議会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ ニシタニ マンジ
代表者氏名 会長 西谷 萬二 [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	光南台地区耕作放棄地の復元等による地域活性化プロジェクト
事業実施区域 (小学校区)	光南台中学校区

※実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真（2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。

当初計画に基づいて次のとおり実施した。

① 耕作放棄地の草刈り

宮浦青谷水系 10,000㎡（3,000坪）を農地へ復元後、
梅31本、オリーブ27本を植樹。

阿津 峠池付近300坪を農地へ復元後
オリーブ 8本を植樹。

米崎 大谷付近300坪を農地へ復元後

梅 3本、 オリーブ 5本を植樹

② 山へ、イノシシのエサとなるクリ・ドングリを植えて、里へイノシシを近づけない様にする。1/31（日）9～12実施（北浦）
地域住民と小・中学校生徒、職員合わせて50人が参加した。

③ 耕作放棄地を農園へ復元し、果樹園として、募集した。（300坪）
収益は、鳥獣被害対策の一部とした。今後も拡張したい。

④ イノシシの捕獲檻での駆除も積極的に進め、今年度も約100頭駆除した。
同時に、ワイヤーメッシュ・電柵による防護にも努めた。
その結果、被害は、激減した。

⑤ 「野菜作りを基礎から学ぶ」講座全6回をスタートさせた。（3/22～7月）
初回受講者は50名を超える盛況であった。
講師 岡山大学農学部 名誉教授 柘田 正治 氏

⑥ イノシシサロンを開催し、猟友会と地域住民の交流に努めた。（12/5）
前年度に続いて第2回目開催。

⑦ 岡山地区猟友会 南分会 安藤会長によるイノシシ・シカの生態学習講座を開催した。（5/31）

⑧ イノシシの、生態学習出前講座（小串小学校）を開催した。（1/6）

事業
実施
内容

事業目的とその達成状況と効果

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況

ほぼ達成出来た。

イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等

地域のリーダーの不足。

ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等

今後、継続してこの事業は継続する。状況に応じて、柔軟な対応をして行く予定である。

目指す頂上は、地域環境をいかに保全管理するかである。分かりやすく言えば、農村環境の保全管理である。人手もお金もかかる。

当地においては、今後生産されるオリーブから、オリーブオイルをいかなる方法で製造出来るかが、今後を大きく左右する。今後、ここに注力したい。

現時点では、書面には出来ない。

エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況

組織に女性メンバーを加える事で広報力を強化した。

オ その他⇒定めた目標の達成状況

今後の課題として。

1 オリーブオイルをいかにして製造するか。

2 梅・オリーブの果樹園の背景にハナミズキ、百日紅等の景観植物をアレンジする事で、山全体を自然の庭園にしたい。

結果として、観光地になればさらに良い。

3 事業を継続するため、人材育成をしたい。

4 光南台地区の取り組みを積極的に広報し、他の地域への波及効果にも努めたい。

など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">企画などの工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>広報の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山陽新聞社への取材依頼 2 オニビジョンへの取材依頼 3 公民館だよりへの掲載（毎月） 4 市政だよりへの掲載 5 大森市長との対談 2回（オニビジョンでの放映） 6 地域の団体での広報活動強化（町内会お知らせでの広報）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>今後も同様の事業を継続したい。</p> <p>変更は全くなし。</p>

事業実施者としての評価・感想など	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。</p> <p>本年度は計画以上の成果を得た。</p>

■収 支 決 算 書

◆収 入

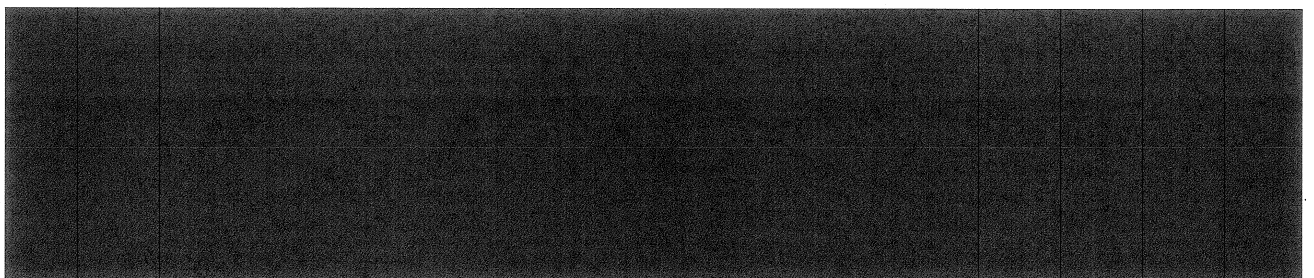
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	800,000	800,000	
負担金	200,000	254,054	
参加費			
計	1,000,000	1,054,054	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	20,000	111,534	
食糧費		8,162	
印刷製本費			
通信運搬費		8,000	
保険料		336	
使用料			
原材料費	140,000	278,743	
委託料	810,000	629,385	
報償費		10,000	
旅費交通費			
燃料費	30,000	5,654	
広告料		2,240	
計	1,000,000	1,054,054	



■ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山市立光南台中学校	1/31クリ・ドングリの植樹イベント
岡山市立甲浦小学校	1/31クリ・ドングリの植樹イベント
岡山市立小串小学校	1/6イノシシの生態学習 出前講座
放送大学岡山学習センター 榎田 正治客員教授	野菜作りを基本から学ぶ(協議会ファーム事業広報)講座開催
岡山地区猟友会 南分会 安藤会長	9/13シカ・サルの生態学習会開催
岡山地区猟友会 南分会 春木先生	12/5イノシシサロン開催(第2回)
岡山市南区役所 農林水産振興課	各種イベントに総合的なアドバイス

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
H27. 4. 7	9/13シカサル学習会講師依頼(安藤会長)
H27. 6. 9	12/5イノシシサロン講師依頼(春木先生)
H27. 6. 10	1/31クリ・ドングリの植樹イベント開催ご案内 実施場所選定の依頼(甲浦・小串連長)
H27. 7. 12	宮浦地区耕作放棄地草刈りスケジュール会議
H27. 7. 18	米崎地区区づくり事業スケジュール会議
H27. 7. 19	阿 津地区区づくり事業スケジュール会議
H27. 8. 2~	宮浦地区青谷池水系耕作放棄地草刈り作業
H27. 8. 11	
H27. 8. 25	「野菜づくりを基本から学ぶ」講座開催講師依頼(梶田氏)
H27. 9. 17/18	宮浦地区青谷池水系耕作放棄地草刈り後、梅・オリーブ植樹予定地の除草剤散布
H27. 10. 3~	阿津地区峠池付近耕作放棄地草刈り作業
H27. 11. 29	
H27. 10. 25~	米崎地区大谷付近耕作放棄地草刈り作業
H27. 12. 13	
H27. 12. 4	1/6イノシシの生態学習 出前講座 依頼 (小串小)
H27. 12. 25~	宮浦地区の梅・オリーブ植樹予定地への溝上げ穴掘り及び資材運
H28. 2. 25	搬投入・苗木の防御柵設置
H27. 12. 13~	阿 津地区の梅・オリーブ植樹予定地への溝上げ穴掘り及び資材運
H28. 2. 20	搬投入・苗木の防御柵設置
H27. 12. 20~	米崎地区の梅・オリーブ植樹予定地への溝上げ穴掘り及び資材運
H28. 2. 14	搬投入・苗木の防御柵設置

H28. 1. 31	1/31 クリ・ドングリの植樹イベント実施(北浦地区)イノシシのエサを山頂へ植樹
H28. 3. 12	宮浦地区の梅・オリーブ植樹予定地へ植樹作業
H28. 3. 13	阿 津地区の梅・オリーブ植樹予定地へ植樹作業
H28. 3. 13	米崎地区の梅・オリーブ植樹予定地へ植樹作業 「野菜作りを基礎から学ぼう」の講座開催(ファーム事業の広報の一環)
H28. 3. 31	区づくり事業完了